

放射線リスクコミュニケーション 相談員支援センター だより

南相馬市の放射線健康相談員に対して研修を実施しました。

南相馬市では、昨年度より放射線健康相談員（4名）を配置し、住民が抱える放射線に関する不安、疑問について相談業務を行っています。加えて今年度も相談員を募集し、本年4月から新たに5名の方を増員し、計9名で相談業務を行っています。

当センターでは、新たな相談員の方々がスムーズに相談業務を行うことができるよう、増員された相談員の方々を対象に研修（4月5日～5月2日まで）を実施しました。

南相馬市における研修の内容をご紹介します。

新たに増員された相談員の方々は、社会での経験は豊富な方ばかりですが、放射線に関する知識は持ち合わせていない一般住民の方々です。

そこで、当センターでは、相談員の方々が、一般的な放射線に関する基礎知識から現場で役立つ具体的な知識まで広く習熟できるよう、幅広い内容の研修を実施しました。主な研修内容は以下のとおりです。

- 放射線と健康影響
- 食品モニタリング
- 放射線測定機器の取り扱いと空間線量率測定
- 食品からの放射線量の評価

- 水道水の安全性
- 個人線量の測定
- 福島第一原子力発電所事故の概要
- 相談員自身のメンタルケア
- 県民健康調査 など

食品モニタリングに関する研修では、受講者の自宅の畑からネギ等をいただいて測定しました。また、個人線量の測定に関する研修では、日・時間毎の平均線量率がわかる線量計を実際に身につけ、データの読み出しを行いました。

南相馬市における研修受講者の声

受講した相談員からは、「放射性物質と身体への影響についての知識が必要なことを認識した。」「今までうろ覚えだった放射線と放射能、シーベルト（Sv）とベクレル（Bq）をきちんと認識する事が出来た。」等の感想がありました。



●食品モニタリングの研修の様子

檜葉町の生活支援相談員や職員等に対して研修を実施しました。

檜葉町では、生活支援相談員の方々が、住民が抱える放射線に関する問題への対応等を行っております。

当センターでは、今年度、新たに採用された生活支援相談員の方々が放射線に関する基礎知識を習熟できるよう、また、すでに活動している職員や生活支援相談員の方々が復習できるよう、生活支援相談員を中心とした職員の方々を対象に、研修（4月7日）を実施しました。

檜葉町における研修の内容をご紹介します。

生活支援相談員の方は、事故により避難・被災された住民の方々への訪問活動を行っており、放射線に関する問題も含め、生活に関する様々な相談に対応しております。

そこで、当センターでは、生活支援相談員の方々が、生活における放射線健康リスクをわかりやすく理解できるよう、福島県内の住民の方々が心配されている身近な内容について、これまでの研究結果等を基に専門家の先生方に解説をお願いしました。主な解説内容は以下のとおりです。

- 放射線についての基礎知識
- 水と食品に含まれる放射性セシウム
- 内部被ばく検査
- 福島県民の健康問題
- 放射線リスクの考え方や伝え方

檜葉町における研修受講者の声

受講者からは、「今まで参加した放射線に関する研修会はどれも難しかったが、今回はわかりやすく具体的な内容もあり勉強になった。」等の感想が寄せられました。



●研修会の様子

相談員の支援のための業務紹介

当センターでは、自治体の方々の要望等に基づき、上記で紹介したような研修の立案・開催を行っているほか、専門家の派遣など様々な支援を行っております。

センター職員が定期的に皆様のところにお伺いしますので、気軽にご相談いただくか、下記の連絡先にご連絡いただければ幸いです。

(参考：専門家の派遣例)

①現地測定の協力

センターから派遣した専門家が現地での空間線量の測定などに同行し、技術的な説明や質問に対応します。

②個人線量の測定結果や内部被ばくの検査結果の説明の協力

自治体職員の方々が測定結果や検査結果を住民の方々に説明するにあたり、センターから派遣した専門家が測定結果の回答・解説等について助言を行います。

放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター だより No.7

発行：放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター

連絡先：〒970-8026 福島県いわき市平字小太郎町 2-6 いわきフコク生命ビル 5 階

フリーダイヤル：0120-478-100 FAX：0246-35-5158 E-mail：F-sodan@nsra.or.jp